

STEP 1 理解しよう③【何が同じで、何がちがう？】

be 動詞と一般動詞の使い方で、同じところとちがうところを確認しよう！



同じところ

① どちらも動詞で、肯定文の語順が〈主語+動詞…〉。

例 【be 動詞】 I **am** a junior high school student. (私は中学生です)
〔日本語で見る英語の語順〕 私は です 中学生
主語 動詞

例 【一般動詞】 I **study** math. (私は数学を勉強します)
〔日本語で見る英語の語順〕 私は 勉強します 数学を
主語 動詞

◆ワンポイント be 動詞でも一般動詞でも、肯定文では主語のうしろに動詞がきます。英語の語順は日本語の語順とは異なるので注意しましょう。

② どちらも時制によって語の形が変化する。

例 【be 動詞】 [現在形] Bob **is** hungry. (ボブは空腹です)
 [過去形] Bob **was** hungry. (ボブは空腹でした)
 【一般動詞】 [現在形] Bob **watches** TV. (ボブはテレビをみます)
 [過去形] Bob **watched** TV. (ボブはテレビを見ました)

③ どちらも現在形は主語によって変化する。

主語 \ 動詞	be 動詞	一般動詞 (例 enjoy(楽しむ))
3人称単数の名詞	is	enjoy s
I	am	enjoy
you / 複数名詞	are	enjoy

◆ワンポイント be 動詞も一般動詞も、『主語が3人称単数の名詞で現在の文であれば、動詞の語尾はsになる』と覚えましょう。すると、「この主語の場合、be 動詞ならisを使うから、一般動詞はsで終わるんだ」と確認でき、3単現のsを忘れてしまうミスを予防できます。



ちがうところ

be 動詞の過去形は主語によって形が2つあるが、一般動詞では、そのようなことはない。

主語 \ 動詞	be 動詞	一般動詞	
		規則動詞(例 play)	不規則動詞(例 go)
3人称単数の名詞	was	played	went
I			
you / 複数名詞	were		

これだけは
おさえよう！

- 英語の肯定文は〈主語+動詞〉！
- 動詞は時制と主語によって変化する！